

# DAIICHI

第一通信

# REUNION



vol. 01

JUNE 2012

鹿児島第一高等学校  
同窓会通信

## 「紳士たれ、淑女たれ」

この言葉に支えられた3年間。  
厳しかった先輩も、  
生意気だった後輩も、

競い合った同級生も。  
大人になった今、  
みんなが「仲間」になりました。

各地で支部会が誕生  
若い力でつながる一校同窓会

いつも同窓会にご支援いただきありがとうございます。走り出したばかり、まだまだ皆様のご期待に応えられない点も多々あるかと思えます。若い集団で、仕事や家庭に奮闘している年代、同窓会業務に集中できないのが現状です。役員のみなさんにも無理のないようお願いしておりますので、どうかお許しください。

しかしながら昨年は関東支部会と北部九州支部会が立ち上がり、着々と発展しております。同窓会は現在大学生活を送る卒業生、就職活動中の学生、また我々社会人にとってもいろいろな相談や情報交換ができる場所。関東信越、北部九州に続き、沖縄、四国、関西、北陸中部、北海道東北と、日本各地での支部会設立を近年中に実現したいと思えます。みなさまのご協力をお願い申し上げます。

今年も8月に行われる総会でお会いできるのを楽しみにしております。



同窓会本部部长 山龍一(7期生) / 吉武毅人校長と

Report

## 第3回

誰もがあの頃に還りました

## 同窓会総会

平成23年8月6日、第3回同窓会総会が「ホテル京セラ」にて開催されました。当日は同窓生47名、職員22名が出席。退職された先生方にもご参加いただき、近況報告や懐かしい思い出話に花が咲きました。総会の様子を写真でお伝えします。



恩師との再会に感動



お久しぶりです！  
元気です



### 関東での輪を拡大し 一校の存在感を高める

関東  
支部会

昨年11月19日、東京蒲田のレストランに堂前先生をお迎えして関東支部会は結成されました。「名ばかり支部長」の自分に代わり、呼びかけから会場設営まで取り仕切ってくれたのは5期生の植村さんと伊地知君。フェイスブックを通じてその輪はますます拡大しています。今後は関東鹿児島県人会連合会への加盟などで一校の存在感を高め、相互の親睦やスキルマッチングのため、同窓会版「私の履歴書」を作成する予定です。関東在住のみなさんの参加をお待ちしております。



堂前先生をお迎えして、関東支部会のメンバーと

関東支部会会長

5期生 茶園 昌宏

### 年代の垣根を越えた 結束の強さが自慢

北部九州  
支部会

平成23年、第1回北部九州同窓会を福岡市内で実施いたしました。それから数回の会食を重ね、メンバーの親睦を深めています。この支部会は同郷、同窓ならではの結束の強さが自慢です。同窓生が福岡に立ち寄る知らせを受ければすぐに集まり、互いの近況を報告し合う機会にしています。今後は若い世代の参加も募



北部九州支部会のメンバーと

北部九州支部会会長

4期生 徳田 泰洋

は若い世代の参加も募りながら少しずつ大きくしていきますので、みなさまもぜひお立ち寄りください。

**【平成24年 主要大学合格実績】**

**■国公立大学**

- ・帯広畜産大学(畜産・獣医)1名
- ・横浜国立大学(理工)1名
- ・広島大学(経済)1名
- ・(教育)1名
- ・(歯・口腔工)1名
- ・高知大学(医・医)1名
- ・九州大学(法)1名
- ・(工)1名
- ・鹿児島大学(法文)1名
- ・(教育)1名
- ・(理)1名
- ・(農)2名
- ・(工)2名
- ・(医・作業)1名
- ・(歯)1名
- ・その他 20名

**■私立大学**

- ・日本獣医生命科学大学(獣医)1名
- ・慶應義塾大学(経済)1名
- ・国際基督教大学(教養)1名
- ・中央大学(法)1名
- ・立命館大学(法)1名
- ・(経営)1名
- ・(経済)1名
- ・(薬)1名
- ・(生命科学)1名
- ・福岡大学(人文)5名
- ・(商)2名
- ・(工)2名
- ・(薬)1名
- ・西南学院大学(国際文化)1名
- ・(法)2名
- ・(人間科学)1名
- ・その他 104名



上松俊介さん

「鹿児島県高校音楽コンクール」金賞、「全日本学生音楽コンクール」九州大会1位と、輝かしい経歴を持つ上松俊介さん(高校3年)。世界トップレベル、フランスのバリ国立高等音楽院合格を目指す若きフルート奏者です。「フルートは明るく魅力的な音色を出す素晴らしい楽器。私の演奏でクラシックを身近に感じてくれる人が増えたらうれしいです」。この夏開催される「九電ふれあいコンサート」で、九州交響楽団と共演することが決定しています。

**パリの音楽院合格を目指す  
プロフルーティストの卵**

**Topic 在校生の活躍**



**■第46回 鹿児島県高等学校 新人空手道競技大会**

- 女子団体組手 優勝
- 女子団体形 準優勝
- 女子個人形 優勝(松元さくらさん)
- 女子個人組手 ベスト8(崎村奈央さん、西門唯生さん)
- 男子個人組手 優勝(森亮太さん)、準優勝(久永大成さん)、ベスト8(児島将さん)

**■第31回 全九州高等学校 空手道新人大会**

- 女子団体組手 南ブロック3位
- 女子個人形 南ブロック準優勝(松元さくらさん)

**空手部が県大会で優勝  
九州、全国大会へ**

大会ごとに好成績を残している空手道部。昨年10月に開催された県の新人大会への切符を手に入れました。大きな舞台を経験した選手たちは、気持ちを切り替え、次の大会に向けた練習に取り組んでいます。今年の活躍にご注目ください。



**名付け親になりませんか?  
同窓会の名前を募集します!**

- 応募方法/総会費振込用紙の通信欄にあなたが考えた総会の名前をご記入ください。
- 賞金総額/10万円
- 審査方法/同窓会役員にて一次選考を行います。最終選考は同窓会総会当日、出席者投票によって行います。
- 締め切り/7月20日(金)

**会報誌 発行にあたって**



卒業生の皆さんお元気ですか。本校は創立27年目を迎えました。その間2482名の卒業生を送り出しました。

本校の同窓会は発足して4年目を迎え、各地区で有志が支部結成をしたとの朗報を耳にして大変頼もしく思うと同時に、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、この度念願の会報誌を発刊できましたことを心からお喜び申し上げます。何事においても、最初が肝心で大変であります。発行にあたりご尽力された役員、会員の皆様に敬意を表します。各地で活躍している同窓生の皆さんもこの日を待ち望んでおられたことでしょう。会報誌を過ぎし日の高校時代の青春のページとして懐かしむ方も多からうと存じます。そして、その多情多感な時代の学校生活の体験が、今、皆さんの自信と誇りとなり、明日への活力を生み出しているものと拝察いたしております。

この会報誌が同窓生の連帯感を育み、母校との絆がより一層固くなりますよう祈念し、発行にあたってのお祝いの挨拶とします。

鹿児島県第一中学校・高等学校  
校長代理 豎山 巖

<b>◎本部役員紹介</b>		<b>◎北部九州支部役員</b>	
会長 豎山 龍一(7期)	副会長 中島 弘幸(3期)	会長 徳田 泰洋(4期)	副会長 柳原 正和(4期)
副会長 泰泉寺 祥子(6期)	副会長 幸野 拓矢(8期)	副会長 伊地知 敏志(6期)	副会長 植村 優子(6期)
副会長 米丸 裕介(10期)	副会長 裕介(10期)	副会長 伊地知 敏志(6期)	副会長 植村 優子(6期)
副会長 樋口 宗子(6期)	副会長 宗子(6期)	副会長 伊地知 敏志(6期)	副会長 植村 優子(6期)

# 人との出会いで手に入れた 「逃げない気持ち」

KYT鹿児島読売テレビ 報道局報道部 アナウンサー

## 中西 沙綾さん

1986年、霧島市出身。鹿児島第一中学校3期生、鹿児島第一高校16期生。日本大学芸術学部放送学科卒業後、高知さんさんテレビに入社。2010年より鹿児島読売テレビ・アナウンサーとして活躍中。

華やかなテレビの世界は誰もが一度は憧れる職業の一つ。タレント性のみならず知性も必要とされるアナウンサーとなれば、非常に狭き門をクリアしなければならない。中西沙綾さんは、KYT鹿児島読売テレビのアナウンサーとして活躍する26歳。現在は記者も兼務しながら政治経済を担当。KYTニュースや番組案内でその姿を見ることができる。

アナウンサーを目指すようになったのは中学時代。「もともとテレビが好きで、何かを表現する人になりたかったんです。ある日母親に『アナウンサーはどう?』と言われたのがきっかけ。先生から賛同をいただいたのも後押しになりました」。高校に上がり、いよいよ進路を定める時期がやってくるが、アナウンサーになるにはどの大学を希望すれば良いのかわからない。まずは好きなアナウンサーがどんな大学を卒業しているのかを調べるところから、先生と一緒に取り組んだそう。親身になって話を聞いてくれる教師や友人など、高校時代は頼れる場所があったという。「ともに頑張っていたバスケ部のメンバーにも支えられました。卒業してからも高校の部活に顔を出せば温かく迎えてくれて、良い思い出ばかり。人に恵まれていると感じます。辛く苦しいときでも逃げない気持ちを高校で養えたと思います」。

仕事のやりがいを感じるのは、普段の生活では知り得ない話を聞けたり、歴史的な記録の現場に立ち会えたりすることと話す中西さん。「原発の問題について賛成派、反対派の意見や専門家の見解といった生の声が聞けること。先日の金環日食のレポートでは同じ場所にいたみなさんの良い表情が見られて、そういった“現場”にいられることが喜びです」。目標は現場に合ったレポートをすること。楽しい雰囲気や張り詰めたような緊張感など、その空気感や人の思いをいかに引き出し、伝えるか、彼女の表現に今度も注目したい。

### 思い出アイテム

「大好きな英語を伸ばしたい」と中学3年のときにアメリカでのホームステイを体験。当時の様子を綴ったアルバムは今でも大事にとってある。

